

平成 29 年度第 3 回市川市介護保険地域運営委員会（議事録）

1. 開催日時：平成 29 年 12 月 4 日（月）午後 2 時 00 分～3 時 30 分
2. 開催場所：仮本庁舎 4 階 第 4 委員会室
3. 出席者
【委員】
委員長 伊藤委員
副委員長 高木委員
委員 淡路委員、吉田委員、大野委員、谷口委員、戸田委員、森本委員、
【事務局】
若菜福祉政策課長、加藤介護福祉課長ほか
4. 議事
 - (1) 予防給付ケアマネジメント業務委託の追加事業者について
 - (2) 平成 29 年度上半期高齢者サポートセンター運営評価報告について
 - (3) 第 7 期市川市高齢者福祉計画 介護保険事業計画の方向性について
 - (4) 地域密着型サービス事業者の指定及び指定更新について

《配布資料》

会議次第

- | | |
|---------------|--|
| 資料 1 | 予防給付ケアマネジメント業務委託の追加事業者について |
| 資料 2－1 | 運営評価の手順について |
| 資料 2－2 | 平成 29 年度上半期 高齢者サポートセンター運営評価結果一覧
(行政評価) |
| 資料 2－3 | 平成 29 年度 高齢者サポートセンター運営評価 (上半期) |
| 資料 3－1 | 第 7 期市川市高齢者福祉計画・介護保険事業計画への掲載について |
| 資料 3－2 | 「第 7 期市川市高齢者福祉計画・介護保険事業計画に定める介護給付
等費用適正化事業」に係る目標について (案) |
| 資料 4 | 地域密着型サービス事業所の指定及び指定更新について |
| 議題 3 に関する参考資料 | 市川市高齢者福祉計画・介護保険事業計画 (素案)
地域包括ケアシステムの強化のための介護保険法等の一部を改正す
る法律のポイント |

項 目	内 容
伊藤委員長	<p style="text-align: center;">(1) 予防給付ケアマネジメント業務委託の追加事業者について</p> <p>それでは、議題(1)「予防給付ケアマネジメント業務委託の追加事業者について」です。 介護福祉課より、説明をお願いします。</p>
介護福祉課	<p style="text-align: center;">(資料1「予防給付ケアマネジメント業務委託の追加事業者について」に基づき説明)</p>
伊藤委員長	<p>それではこの件に関しまして、ご質問、ご指摘はございますでしょうか。</p> <p style="text-align: center;">(質問、指摘なし)</p>
	<p style="text-align: center;">(2) 平成29年度上半期高齢者サポートセンター運営評価報告について</p>
伊藤委員長	<p>それでは議題(2)「平成29年度上半期高齢者サポートセンター運営評価報告について」です。 介護福祉課より、説明をお願いします。</p>
介護福祉課	<p style="text-align: center;">(資料2-1「運営評価の手順について」、資料2-2「平成29年度上半期高齢者サポートセンター運営評価結果一覧」、資料2-3「平成29年度 高齢者サポートセンター運営評価(上半期)」に基づき説明)</p>
伊藤委員長	<p>それではこの件に関しまして、ご質問、ご指摘はございますでしょうか。</p>
戸田委員	<p>民生委員の会議がありまして、高齢者サポートセンターの方にも来ていただいています。そこで様々な報告やご案内をさせていただいておりますが、地域の高齢者の方を認知症カフェへお誘いしていただきというご案内を受けます。しかし、認知症カフェへお誘いすることが、その方に「あなた、認知症ですよね。」と言っているように受け取られてしまう可能性があるため、とても心苦しいです。資料2-3の行徳地区で、「認知症カフェの名称を変更した」という内容の記載があり、実際にそのようなことが起きているのかもしれないと心配になりました。</p> <p>また、「地域ケア会議」と、「地域ケアシステム推進連絡会」の名称が似ていて、混乱を招く恐れがあります。</p> <p>なお、資料2-2について、数字での評価だけではなく、文章での評価の記載はしないのでしょうか。</p>

<p>介護福祉課</p>	<p>認知症カフェについては、どのような方でも行きやすい環境づくりを目指していくつもりでございます。</p> <p>地域ケア会議の名称についてですが、市川市では「地域ケアシステム」という言葉を平成13年から使用しており、その中で名称の重複で混乱を招いていることは実情として認識しております。この名称につきましても、会議の内容がわかりやすいように地域の方々と話し合っていたらと思います。</p> <p>資料2-2は文章で評価内容を入れているのが一部になりますが、それ以外に資料2-3の報告書で詳しく文章で評価内容を記載しておりますので、資料2-2は数字のみの記載とさせていただきます。</p>
<p>谷口委員</p>	<p>私は認知症カフェのスタッフとして認知症の方々がいらっしゃるカフェと認識をしていましたが、私の勘違いだったのでしょうか。</p>
<p>介護福祉課</p>	<p>お茶を出す側と、客側、どちらもやっております。</p>
<p>伊藤委員長</p>	<p>もともと認知症は痴呆症という名前で、あまりにもひどいということで名称が変わったのですが、医療現場から見ると名称はあまり関係ないと思います。最近はお自分で心配して検査に来られる方も多く、大体は異常なしですが、このように国民全体の意識が高まっていくのなら、名称にこだわらなくても良いと思います。</p>
<p>大野委員</p>	<p>認知症カフェの案内は民生委員等に対してで、カフェ自体の名称は別の名称を使って住民の方にはご案内しているので、使い分けができていれば良いのかなと思います。</p> <p>(3) 第7期市川市高齢者福祉計画 介護保険事業計画の方向性について</p>
<p>伊藤委員長</p>	<p>それでは議題(3)「第7期市川市高齢者福祉計画 介護保険事業計画の方向性について」です。</p> <p>福祉政策課より、説明をお願いします。</p>
<p>福祉政策課</p>	<p>(資料3-1「第7期市川市高齢者福祉計画・介護保険事業計画への掲載について」、資料3-2「第7期市川市高齢者福祉計画・介護保険事業計画に定める介護給付適正化事業」に係る目標について(案)」に基づき説明)</p>

<p>伊藤委員長</p> <p>介護福祉課</p> <p>伊藤委員長</p> <p>終了</p>	<p>ケアプラン点検の数値目標が前回の報告でも少なかったのですが、これ以上回数を増やすことはできないのでしょうか。</p> <p>前回の計画では年間 18 件で維持するというのが目標でしたが、改めまして、高齢者サポートセンターの主任介護支援専門員や、居宅の主任介護支援専門員にも協力を促して、点検数を増加していくということでこちらの数値を定めさせていただきました。一人ひとりの介護支援専門員との面接を通して振り返り、気づきを促していくため、大幅に件数を増やすことは難しいところではありますが、地域の研修会を通して介護支援専門員同士での話し合いから自己点検に繋がる流れを作っていけたらと考えております。</p> <p style="text-align: center;">(4) 地域密着型サービス事業者の指定及び指定更新について</p> <p>それでは議題 (4) 「地域密着型サービス事業者の指定及び指定更新について」です。</p> <p>福祉政策課より、説明をお願いします。</p> <p style="text-align: center;">(非公開のため省略)</p> <p>これで本日の議題は全て終了いたしました。</p> <p>それでは、平成 29 年度第 3 回介護保険地域運営委員会を終了します。</p>
--	--

市川市介護保険地域運営委員会
委員長 伊藤 勝仁